



秋の空を彩る雲  
久しぶりに見た「ひつじ雲」に  
改めて秋の趣を感じました  
そして季節は冬へと・・・

## 小雪(しょうせつ)



季節は、二十四節気の1つ「小雪(しょうせつ)」を迎えました。小雪とは、雪が降り始めるころ。まだ、積もるほど降らない時期であることから「小雪」といわれるようになったそうです。

「えっ、もう雪？」という声が聞こえてきそうですが、二十四節気は、今の暦とは若干ずれるところがあり、体感する気候とは合わない名称もあります。とはいえ、季節感を味わうには、趣深い言葉であることにかわりはありません。今月7日には立冬を経て、季節はいよいよ冬の気配へと変わってきました。これから、「大雪(たいせつ 12/7)」「冬至(とうじ 12/22)」「大寒(だいか

ん 1/20)」といった、冬を代表する名称を耳にすることが多くなります。慌ただしい日々の中ではありますが、四季折々(冬)の風情を感じられるといいですね。

近年は、温暖化の影響からか、真冬でさえ甲府盆地で雪を見ることはほとんどなくなりました。私が子どもの頃は、年に数回は必ずまとまった降雪があり、小さなかまくらや滑り台を作ったことを覚えています。とても楽しかった記憶です。しかし、子どもの頃に楽しかったはずの「雪」が、いつの間にか**苦**となってしまったのは、果たしていつの頃からなのでしょう。



# ～児童会選挙 月間～

いよいよ児童会選挙の投票日が近づいてきました。すでに選挙管理委員会を中心に取組はスタートしており、廊下には立候補者のポスターが掲示されたり、学級訪問に換わるテレビ演説が行われたり、休み時間の運動が行われたりと、この1か月は選挙月間となっています。

20名の選挙管理委員会メンバーは、毎日のように集まっては選挙事務に勤しんでおり、選挙がつつがなく進むように活動全体を支えています。どんな活動でもそうですが、必ず**縁の下**の力持ちがその活動を支えています。今回もその力は、大きな**学校の支え**となってきています。

そして、ドキドキしながら毎日を送っている7名の立候補者。立候補に至るまでには大きな葛藤と覚悟があったことと思います。

それでも、最後は「こんな学校にしたい!」「こんな取組をしたい!」と**未来の北小**を思い描き、**希望**に胸膨らませて「したい!」を原動力に挑戦していることでしょう。

また、各立候補者を支える責任者や応援者、クラスの仲間の存在も大きく、

立候補者の支え、安心できる拠り所となっています。クラス全体のバックアップ体制にも力強さと温かさがあります。

この選挙を子どもの選挙と侮ることなかれ! 大人の選挙に負けないくらいなのが、ここ北小にはあります。

.....

# ～学校の風景～



全校たてわり遊び

6年生が楽しい種目を考え、たてわり班で仲良く活動しました。笑顔弾ける一時でした。



4年生地方病出前授業

日本住血吸虫病について学習しました。手にしている物は、かつて殺菌で使用した火炎放射器です。



健康クイズラリー

保健委員会主催のクイズラリーを開催中。楽しみながら健康について考えています。



2年生おまつり広場

2年生が1年生を招待してお祭を開催しました。2年生の頼もしさが光りました。

